NISSAY ASSET MANAGEMENT

週間市場レポート（2022年10月10日～10月14日）

1）先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/10/7	先週末 2022/10/14	前週末比 (%)
日経平均株価（円）	日本	27,116.11	27,090.76	▲ 0.09 ↘
ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）	日本	1,906.80	1,898.19	▲ 0.45 ↘
ダウ工業株30種平均（ドル）	米国	29,296.79	29,634.83	1.15 ↗
Ｓ＆Ｐ500種指数	米国	3,639.66	3,583.07	▲ 1.55 ↘
ナスダック総合指数	米国	10,652.40	10,321.39	▲ 3.11 ↘
ユーロ・ストックス50指数	ユーロ	3,375.46	3,381.73	0.19 ↗
Ｓ＆Ｐ/ＡＳＸ300指数	豪州	6,744.33	6,732.25	▲ 0.18 ↘
上海総合指数	中国	－	3,071.99	－
MSCI AC アジア（除く日本）※		753.08	724.68	▲ 3.77 ↘
東証ＲＥＩＴ指数	日本	1,942.00	1,902.60	▲ 2.03 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数	米国	663.73	652.93	▲ 1.63 ↘
ＡＳＸ300 ＲＥＩＴ指数	豪州	1,266.00	1,243.60	▲ 1.77 ↘
グローバルＲＥＩＴ（除く日本）※		158.26	156.24	▲ 1.28 ↘
日本10年国債（%）	日本	0.252	0.251	▲ 0.001 ↘
米国10年国債（%）	米国	3.881	4.018	0.137 ↗
ドイツ10年国債（%）	ドイツ	2.194	2.346	0.152 ↗
英国10年国債（%）	英国	4.238	4.335	0.097 ↗
ドル/円	米国	145.25	148.67	2.35 ↗
ユーロ/円	ユーロ	141.59	144.62	2.14 ↗
英ポンド/円	英国	161.03	166.35	3.30 ↗
豪ドル/円	豪州	92.56	92.24	▲ 0.35 ↘
フィラデルフィア半導体指数		2,356.75	2,162.32	▲ 8.25 ↘
ＷＴＩ原油先物（ドル）		92.64	85.61	▲ 7.59 ↘
ＣＲＢ指数		285.62	276.69	▲ 3.12 ↘

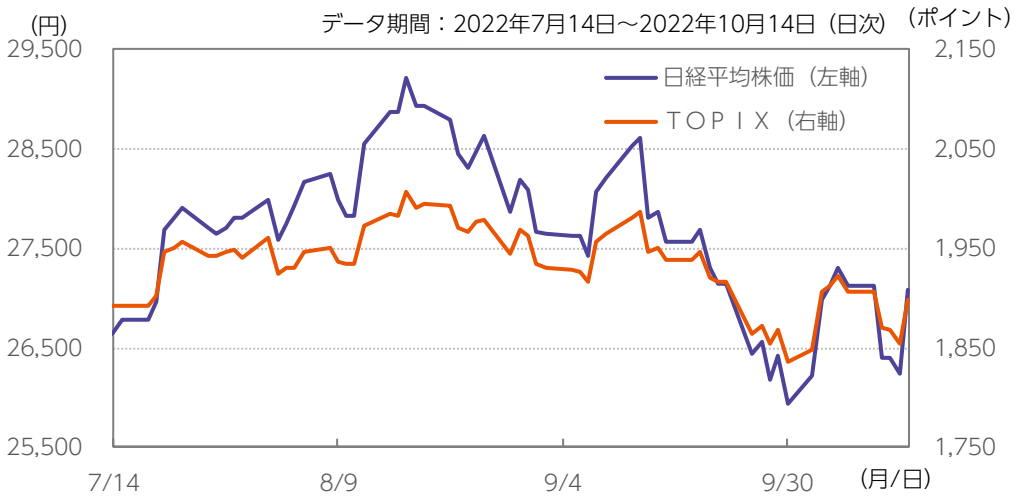
出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース　＊1 ▲はマイナスを表します。　＊2 中国は国慶節のため10月3日～10月7日まで休場

2）日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で横ばいとなりました。

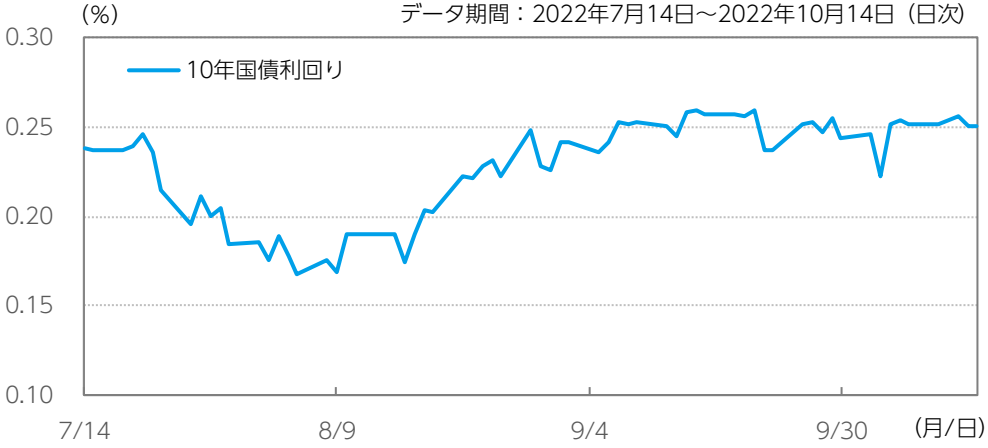
前週末に発表された9月の米雇用統計では、失業率が前月から低下し、米労働市場の堅調さが改めて確認され、米連邦準備制度理事会（FRB）による大幅な利上げの継続と、利上げにともなう景気減速懸念が強まったことから、前週末から13日（木）まで4営業日続落しました。週末は、前日の米国株式市場が大幅に上昇した流れを受け上昇したものの、週間では前週末比で横ばいとなりました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。

欧米をはじめとする海外の長期金利の先高観が根強いなか、持ち高の調整を目的とした売りが優勢となる場面もあったものの（利回りは上昇）、日銀が現行の金融政策で許容する長期金利の変動幅の上限であえる0.25％近辺では買いも入り（利回りは低下）、週間では前週末比で横ばいとなりました。

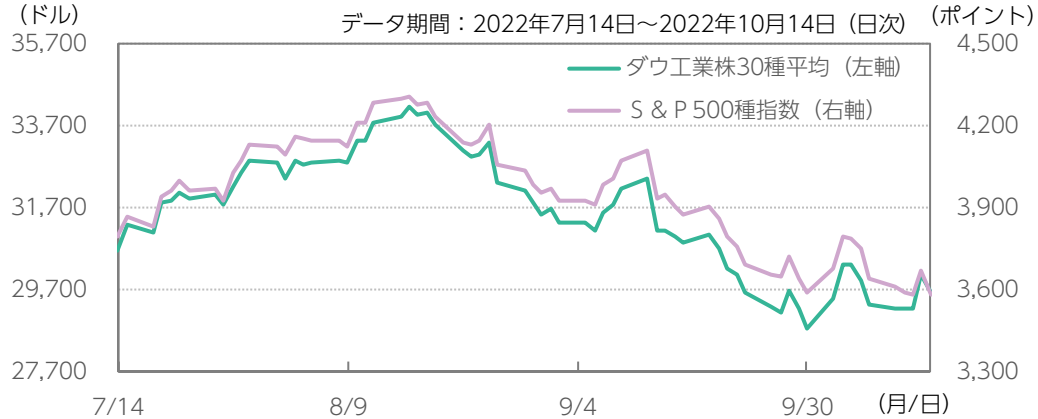


3）米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇しました。

13日（木）に9月の米消費者物価指数（CPI）の発表を控え様子見ムードが強く、週初より小動きとなりました。米CPIは市場予想を上回ったものの、ここのところ下げが大きかった金融株やハイテク株を中心に買い戻しが入りました。週末は、消費者の予想インフレ率が上昇しFRBによる積極的な利上げの長期化懸念から下落したものの、週間では前週末比で上昇しました。

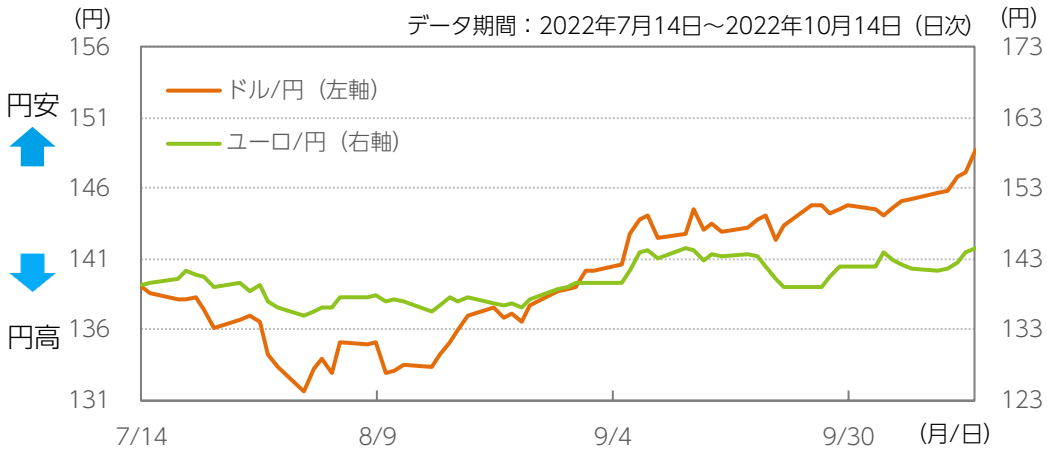


出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4）外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。

9月の米CPIが市場予想を上回ったことやミシガン大学が発表した消費者の予想インフレ率が上昇したことを受け、FRBが大幅利上げを継続するとの見方から米長期金利が4.0%を超える水準まで上昇し、日米金利差の拡大を意識した円売り米ドル買いが進みました。



5）今週の見通しについて

FRBによる積極的な金融引き締めが長期化し、世界景気が減速するとの懸念が強まり、株式市場は不安定な値動きが続いています。

13日（木）に発表された9月のCPIは前年同月比+8.2%となり、市場予想の同+8.1%を上回りました。エネルギー価格が下落基調である一方、食料品価格や住居費の上昇が続いています。市場では、FRBが次回11月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で0.75％の大幅利上げを行うとの見方が大勢を占めています。なお、足元の堅調な経済指標やインフレを受け、12月のFOMCでも大幅な利上げを行うとの見方も出始めているようです。

先週より、米国企業の7－9月期決算発表が始まりました。今週は、企業業績や業績見通しなどを見極めながら、個別銘柄の物色買いが相場の支えとなりそうですが、主要国の積極的な利上げやそれにともなう景気減速懸念は根強く、上値の重い展開を予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター　0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/